



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 株式会社高速 上場取引所 東
 コード番号 7504 URL <https://www.kohsoku.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 赫 裕規
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 社長室長 (氏名) 三田村 崇 TEL 022-259-1611
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	75,673	7.5	3,463	6.1	3,652	6.5	2,466	5.7
2022年3月期第3四半期	70,384	6.6	3,264	19.7	3,429	18.7	2,332	16.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,476百万円 (7.0%) 2022年3月期第3四半期 2,313百万円 (11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	127.69	—
2022年3月期第3四半期	120.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	60,319	33,745	55.9
2022年3月期	52,473	32,137	61.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 33,745百万円 2022年3月期 32,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2023年3月期	—	23.00	—		
2023年3月期（予想）				23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	3.5	3,800	2.8	4,000	2.6	2,700	1.4	139.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	20,973,920株	2022年3月期	20,973,920株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,661,661株	2022年3月期	1,661,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	19,312,259株	2022年3月期3Q	19,312,318株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国際情勢の不安定化に伴う原料価格高騰や燃料費高騰による急激な物価高の影響で、極めて不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客においては、新型コロナウイルス感染症拡大の経済的影響の収束に伴い回復基調にある業種がある一方、総じて多くの業種においては、急激な物価高に伴う不透明な国内景気の影響により、経営環境は大変厳しいものとなっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、「包装を通して、すべてのステークホルダーに『高速ファン』を増やし、社会にとって有用な『グッドカンパニー』を目指す」という長期経営ビジョンのもと、「食の流通を支える」、「食の安全安心に貢献する」さらに「買い物の楽しさや食品のおいしさを演出する」という当社の社会的役割を果たしながら、お客様への商品の安定供給、企画の提案や情報提供を継続してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間での業績は売上高756億73百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益34億63百万円（同6.1%増）、経常利益36億52百万円（同6.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億66百万円（同5.7%増）となりました。

当社グループは「包装資材等製造販売事業」の単一セグメントであるためセグメント情報は記載しておりません。また、実質的に単一事業のため、事業部門別等の記載も省略しております。

なお、当第3四半期連結会計期間（2022年10月～12月）における連結損益の主要項目は、下記のとおりとなっております。

区分	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	対前年比率
	金額 (千円)	金額 (千円)	(%)
売上高	25,060,440	27,476,789	109.6
売上原価	20,199,631	22,118,480	109.5
売上総利益	4,860,809	5,358,309	110.2
販売費及び一般管理費	3,490,206	3,979,830	114.0
営業利益	1,370,603	1,378,479	100.6
営業外収益	64,721	81,299	125.6
営業外費用	8,607	6,355	73.8
経常利益	1,426,716	1,453,423	101.9
特別利益	—	12,791	—
特別損失	—	14,014	—
税金等調整前四半期純利益	1,426,716	1,452,200	101.8
法人税等	464,031	477,055	102.8
四半期純利益	962,685	975,144	101.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	962,685	975,144	101.3

(2) 財政状態に関する説明

① 四半期連結貸借対照表に関する分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ78億46百万円増加し、603億19百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産59億60百万円増加、商品及び製品20億35百万円増加、投資有価証券17億27百万円増加、現金及び預金20億59百万円減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ62億38百万円増加し、265億74百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金42億61百万円増加、電子記録債務21億91百万円増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ16億7百万円増加し、337億45百万円となりました。これは主に、利益剰余金15億96百万円増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,429,880	3,651,511
減価償却費	574,531	642,020
投資有価証券売却益	△3	—
賞与引当金の減少額	△373,155	△153,344
退職給付に係る負債の増加額	21,793	7,621
売上債権の増加額	△3,568,855	△5,960,437
棚卸資産の増加額	△1,370,535	△2,090,667
仕入債務の増加額	4,534,420	6,452,916
未払消費税等の減少額	△186,898	△201,273
法人税等の支払額	△1,490,112	△1,292,308
その他の営業活動によるキャッシュ・フロー	555,695	247,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126,762	1,303,818
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,072,223	△643,123
有形固定資産の売却による収入	2,557	2,317
投資有価証券の取得による支出	△1,594,129	△1,725,689
投資有価証券の売却による収入	4	—
投資有価証券の償還による収入	300,000	—
その他の投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,201	△5,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,507,992	△2,372,374
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△134,690	△121,819
配当金の支払額	△829,868	△869,062
その他の財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△964,729	△990,882
IV 現金及び現金同等物の減少額	△2,345,959	△2,059,438
V 現金及び現金同等物の期首残高	11,365,817	9,700,522
VI 現金及び現金同等物の第3四半期末残高	9,019,858	7,641,084

この四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書は、四半期連結キャッシュ・フロー計算書作成方法に準拠した手順により作成されております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の減少は20億59百万円となり、当第3四半期連結会計期間末の資金は76億41百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、前第3四半期連結累計期間が21億26百万円であったのに対して、当第3四半期連結累計期間は13億3百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、前第3四半期連結累計期間が35億7百万円であったのに対して、当第3四半期連結累計期間は23億72百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、前第3四半期連結累計期間が9億64百万円であったのに対して、当第3四半期連結累計期間は9億90百万円となりました。

第3四半期連結累計期間での主要なキャッシュ・フロー指標は、次のとおりとなっております。

	2021年12月期	2022年12月期	2022年3月期
時価ベースの自己資本比率 (株式時価総額/総資産) (%)	57.32	55.36	58.81
インタレスト・カバレッジ・レシオ (営業キャッシュ・フロー/利払い) (倍) ※1	—	—	—
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (有利子負債/営業キャッシュ・フロー) (%) ※1	—	—	—
自己資本比率 (自己資本/総資本) (%) ※2	56.81	55.94	61.25

※1 インタレスト・カバレッジ・レシオ及びキャッシュ・フロー対有利子負債比率につきましては、有利子負債がないため、記載しておりません。

2 当社グループの主たる営業活動である食品軽包装資材卸売業におきましては、年末が最需要期であるため、第3四半期末である12月31日の売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産）及び棚卸資産が増加する傾向にあります。そのため、総資産（総資本）が増加して、連結会計年度末（3月31日）に比較して、自己資本比率が低くなる傾向があります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の当社グループへの影響については、徐々に収束するものと想定して業績予想を策定しており、現在のところ2022年5月9日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はありません。今後の業績動向をふまえ、当予想の修正が必要となる場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,762,447	7,703,008
受取手形、売掛金及び契約資産	14,075,980	20,036,418
商品及び製品	4,846,645	6,882,635
仕掛品	87,228	91,615
原材料及び貯蔵品	161,339	211,630
その他	212,832	283,244
貸倒引当金	△23,930	△22,836
流動資産合計	29,122,544	35,185,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,189,474	5,180,198
土地	11,161,057	11,228,408
その他（純額）	1,559,632	1,621,795
有形固定資産合計	17,910,165	18,030,403
無形固定資産		
その他	767,703	728,501
無形固定資産合計	767,703	728,501
投資その他の資産		
投資有価証券	3,405,469	5,132,821
長期貸付金	161,761	167,639
投資不動産（純額）	282,381	279,633
繰延税金資産	594,094	601,964
その他	236,484	203,839
貸倒引当金	△7,183	△10,945
投資その他の資産合計	4,673,008	6,374,952
固定資産合計	23,350,877	25,133,857
資産合計	52,473,421	60,319,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,864,587	12,126,399
電子記録債務	7,333,079	9,524,182
未払法人税等	693,344	564,225
賞与引当金	861,669	708,325
その他	1,984,071	2,081,884
流動負債合計	18,736,751	25,005,018
固定負債		
長期未払金	26,420	18,020
リース債務	246,701	230,892
繰延税金負債	466,072	475,515
退職給付に係る負債	788,608	785,125
その他	71,070	59,950
固定負債合計	1,598,873	1,569,502
負債合計	20,335,624	26,574,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,450	1,690,450
資本剰余金	1,858,290	1,858,290
利益剰余金	29,748,626	31,345,624
自己株式	△1,355,490	△1,355,490
株主資本合計	31,941,875	33,538,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,548	287,098
退職給付に係る調整累計額	△88,627	△80,919
その他の包括利益累計額合計	195,921	206,179
純資産合計	32,137,796	33,745,053
負債純資産合計	52,473,421	60,319,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	70,384,882	75,673,409
売上原価	56,643,085	60,564,085
売上総利益	13,741,796	15,109,323
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,729,621	1,861,882
給料及び手当	4,280,828	4,487,432
賞与引当金繰入額	292,246	658,922
退職給付費用	94,070	114,178
その他	4,080,298	4,522,929
販売費及び一般管理費合計	10,477,065	11,645,344
営業利益	3,264,731	3,463,978
営業外収益		
受取利息	20,159	35,551
受取配当金	26,614	30,076
仕入割引	81,261	89,613
受取賃貸料	38,740	37,778
その他	27,936	24,853
営業外収益合計	194,712	217,874
営業外費用		
賃貸収入原価	11,841	10,908
その他	17,722	18,209
営業外費用合計	29,563	29,118
経常利益	3,429,880	3,652,734
特別利益		
受取保険金	—	12,791
特別利益合計	—	12,791
特別損失		
災害による損失	—	14,014
特別損失合計	—	14,014
税金等調整前四半期純利益	3,429,880	3,651,511
法人税等	1,097,133	1,185,461
四半期純利益	2,332,746	2,466,050
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,332,746	2,466,050

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,332,746	2,466,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,530	2,549
退職給付に係る調整額	4,661	7,708
その他の包括利益合計	△18,868	10,258
四半期包括利益	2,313,878	2,476,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,313,878	2,476,308

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

当社グループは「包装資材等製造販売事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。